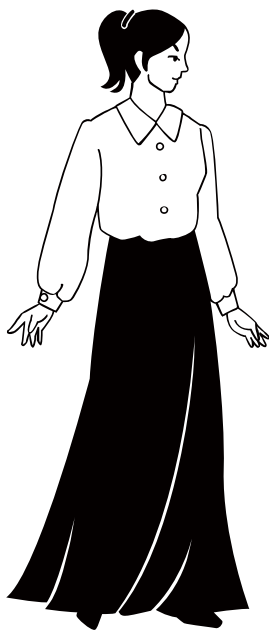


【演奏会衣装ガイド】

基本の考え方

- お客様を礼装でお迎えします。
- 見た目にも統一感のある演奏会にします。
⇒飾りの少ない衣装を選び、着方を統一することで、
特定の方の衣装が目立つことなく、遠目に衣装が揃って見えるようにします。
髪につけるアクセサリ（髪留め）は、髪色に馴染んで目立たない色・大きさの物を選びます。
- お客様に気持ち良く鑑賞していただけるよう、配慮します。
⇒下記「お客様に気持ち良く聴いていただくために」にまとめた注意事項を守ります。

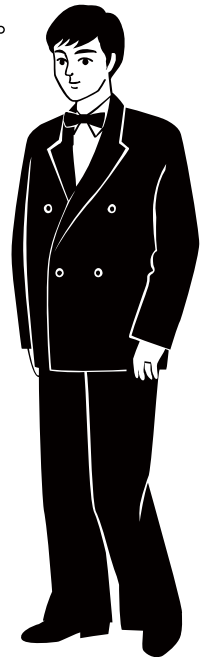


女性の衣装

- ブラウス……ボタンの色も含めて白の、長袖のもの。肌が透けない生地のもの。
袖は手首までの長さ。裾はスカートの中に入れる。
- スカート……黒無地でスリットが無いもの。 ※パンツ（ズボン）はNG
丈は、本番の靴を履いたときにくるぶしが隠れる長さ。
- 靴……飾りのない黒靴。パンプス、ローファーが望ましい。
- ストッキング等……黒で、少なくとも膝あたりまで長さのあるもの。
長さが十分なら、黒無地靴下も可。

男性の衣装

- 礼服・略礼服・黒スーツ
- Yシャツ……ボタンの色も含めて白のもの
- 蝶ネクタイ……黒無地のもの
- 靴……飾りのない黒革靴
- 靴下……黒無地のもの



お客様に気持ち良く聴いていただくために

- 結婚指輪・髪留め以外のアクセサリ及び時計は外します。
⇒舞台照明を反射し、お客様の鑑賞の妨げになることがあります。
- 肌着の透けるものや露出度の高いものなどは避けます。
⇒お客様に不快感を与える場合があります。肌着は強い舞台照明を浴びると、思っている以上に透けます。
目立たないよう、肌の色に近いものを選びましょう。

その他

- 身体的な理由で、パンプスなど礼装にふさわしい靴の着用が難しい場合は、遠目に礼装に見える、
黒色の履き慣れた靴を着用していただいて構いません。本番衣装での移動を安全に行うことを優先します。
- 上記基準に沿ったものの準備が困難な場合は、現物を持ってレッスン会場受付にご相談ください。